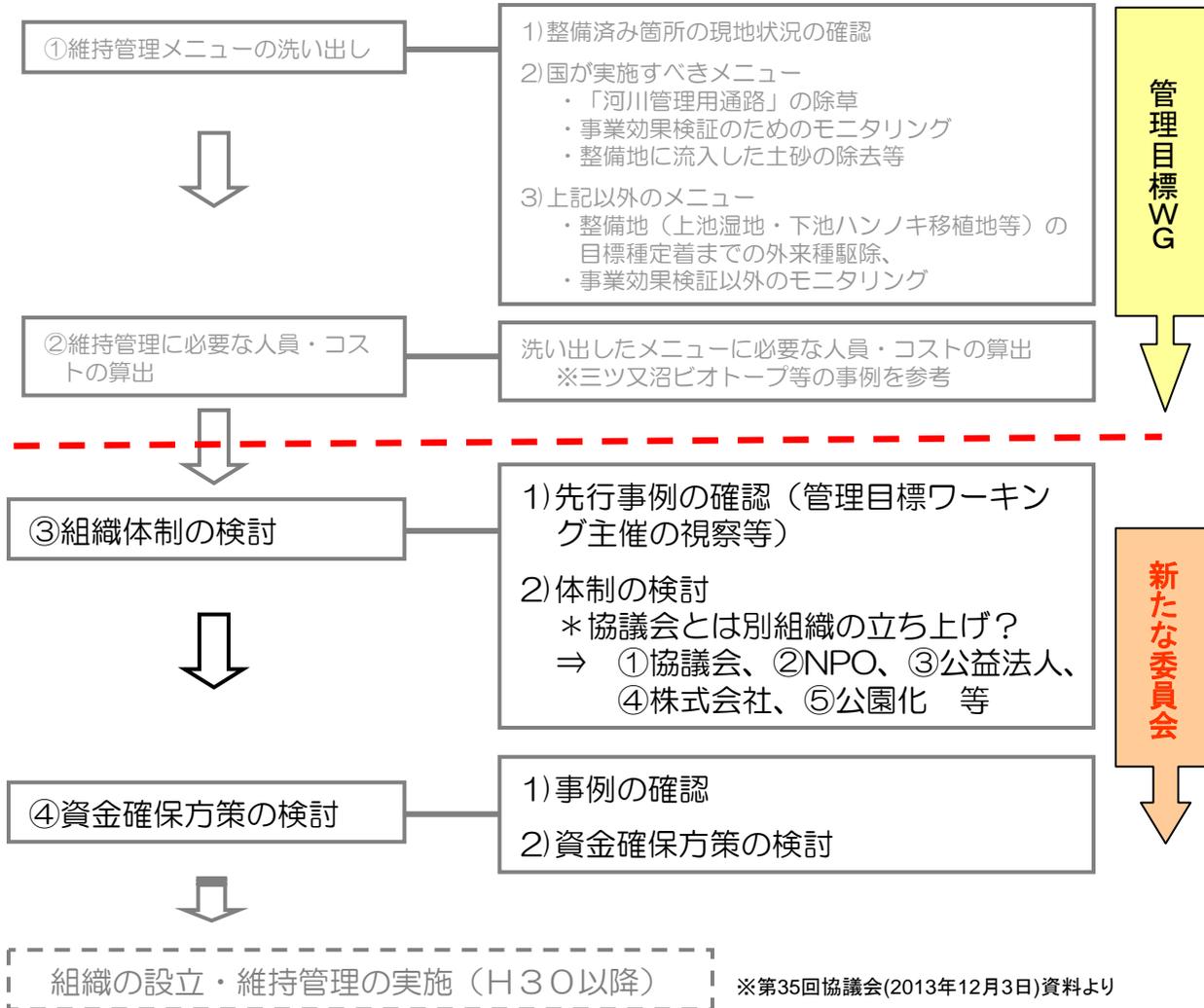


組織体制の検討について

1. 組織体制について

- 管理目標ワーキングでイメージしていた組織体制の検討の流れでは、公園化等も含めた組織体制の検討を行うこととなっています。
- また、新たな制度として「河川協力団体」という組織体制もでき、制度の活用も考えられます。

【平成30年度以降の協議会の組織体制について】 ～特に維持管理の視点から～



河川協力団体制度について

- ◆河川協力団体制度とは、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を支援するものです。
- ◆河川協力団体としての活動を適正かつ確実に行うことができると認められる法人等が対象となり、河川管理者に対して申請を行います。申請を受けた河川管理者は、適正な審査のうえ河川協力団体として指定します。

- ◆申請資格
 - ・代表者の定めがあること
 - ・事務所の所在、構成員の資格、代表者の選任方法を内容とする規約その他これに準ずるものを有すること
 - ・適切な経理事務及び会計処理が行われていること
 - ・5人以上・5年以上の団体であること
 - ・暴力団関係者を含まない、宗教活動又は政治活動を目的としない団体であること
 - ・税の滞納がないこと
 - ・公序良俗に反するなど不誠実な行為を行っていないこと
 - ・河川協力団体としての活動以外では、河川協力団体と称して活動を行わないことが誓約できること

※第35回協議会(2013年12月3日)資料より

2. 企業CSR等の実施状況について

- ①ハローウッツの森（ツインリンクもてぎ）
- ②シャープの森（全国・札幌市）
- ③サンデンフォレスト（群馬県赤城山）
- ④サントリー 天然水の森 赤城（群馬県赤城山）
- ⑤荒川下流自然地管理アダプト制度 千住桜木自然地（荒川下流）
- ⑥葛飾区 堀切菖蒲園（葛飾区）
- ⑦三菱UFJグループ

・「シャープの森」は、従業員の環境意識と社会貢献意識のさらなる醸成を図ることを目的に実施され、従業員とその家族が森の管理の一部を担っているようです。

- サステナビリティレポート
- 理念・方針
- マネジメント
- 環境活動
- 社会活動
- お取引先の皆様へ
- お問い合わせ



生物多様性保全への取り組み

シャープは、生物多様性保全への取り組みを事業活動と社会貢献活動の両面から推進しています。ここでは、国内の労使共同のボランティア組織「シャープグリーンクラブ」による「シャープの森づくり」と「ラムサール条約湿地の保全活動」についてご紹介いたします。これらの活動を通じて、生物多様性保全に貢献するとともに、従業員の環境意識と社会貢献意識のさらなる醸成を図っています。

シャープの森づくり



全国の事業所や営業・サービス拠点の近郊12ヶ所で「シャープの森づくり」を展開しています。「シャープの森」は、基本コンセプトを「森・いきもの・人のつながりを理解し、きずなを深め、地球環境への優しい心をはぐくむ森」とし、植林に加えて、植えた苗を育て上げる「育林」活動にも重きを置いています。

ラムサール条約湿地の保全活動



水鳥や湿地の保全を目的として、ラムサール条約※に登録されている10ヶ所の湿地で生物多様性保全活動や活動の企画検討を進めています。環境省や自治体等と連携して、外来種の除去やクリーンアップ活動等を実施しています。

※1971年2月にイランのラムサールで採択された条約。特に水鳥の生息地等として国際的に重要な湿地、及びそこに生息・生育する動植物の保全を目的としており、2013年9月現在、世界2,161カ所(国内46カ所)の湿地が登録されている。

※シャープHPより

シャープ株式会社・札幌市 「さっぽろふるさとの森づくりに関する協定書」調印式

2008年10月2日(木曜日)、シャープ株式会社と、本市が「さっぽろふるさとの森づくり」を展開している手稲区の山口緑地における森づくり活動について、相互に連携して取り組んでいくことを柱とした連携協定を締結しました。本市において、植樹だけでなく、育樹活動まで含めた協定の締結は、シャープ株式会社が初めてとなります。シャープ株式会社では社員の社会貢献活動の一環として全国に「シャープの森づくり」を展開しており、シャープ社員自らが苗木を植えて約5年間下草刈などの維持管理活動を行いながら森づくりを進めています。今年度と来年度の2か年にわたりミズナラやイタヤカエデなど2,000本の苗木を社員やその家族で植樹を行い、5年間は下草刈などの維持管理活動を行いながら、森づくり活動を進めていきます。



協定書に調印した
シャープ株式会社執行役員 森本弘 環境安全本部長(左)と
上田市長(右)

神松山シャープの森(大阪府)



開設日	： 2006年4月15日
所在地	： 大阪府岸和田市神松山
面積	： 0.6ha(延面積:2.1ha)
コンセプト	： フクロウの里も森づくり
樹種	： クナギ、コナラ、ヤマザクラ



活動スタート
里山として全国で初めて「自然再生推進法」を踏まえ、大阪府が推進する「アプトフォレスト制度」の第1号として里山を再生する協定を2006年4月1日(日)結びました。
具体的な活動として、竹や笹を刈取った後、大阪府・岸和田市をはじめとする神松山里山再生協議会協会のご協力も得て、里山再生に約40人参加してクナギ、コナラ、ヤマザクラの計1,000本を社員とその家族305名が植えました。(2006年4月15日)

2. 企業CSR等の実施状況のHP調べ

③サンデンフォレスト

- 「サンデンファシリティ株式会社」では、2002年に荒廃した森林であった土地に、生産工場を建設するにあたり、大規模な「近自然工法」を取り入れて造成することにより、美しい自然環境を取り戻す取り組みが行われました。これらの取り組みが評価され、2013年4月には、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞しています。

- CSR・環境への取り組み
- ▶ トップメッセージ
 - ▶ 特集
 - ▶ CSRマネジメント
 - ▶ CSRへの取り組み
 - ▶ 環境への取り組み
 - ▶ 社会貢献活動
 - ▶ 社外からの評価
 - ▶ CSR報告書

サンデンフォレスト
自然環境や地域のかたかたと共存し、ともに発展していく

未来が変わる。日本が変わる。 **25** チャレンジ

特集 1 サンデンフォレストでの環境活動



「環境と産業の矛盾なき共存」というコンセプトを掲げ、21世紀に通用する環境共存型工場として、2002年に開設した「サンデンフォレスト・赤城事業所」。

2012年には開設10周年を迎え、その先進的な取り組みは、国内外で高く評価されると共に、貴重な環境/社会教育のフィールドとして、たくさんの方々を訪れていただき、親しまれています。

サンデンフォレスト・赤城事業所の環境に対する取り組みが、高い評価に結実

荒廃した森林であった土地に、生産工場を建設するにあたり、大規模な「近自然工法」を取り入れて造成することにより、美しい自然環境を取り戻すというサンデンフォレスト・赤城事業所で行っている取り組みは、開後10年の時を経て見事に結実しました。様々な食重植物が植生する森には、開発以前と同等の動物種が生息していることが、定期的に行っているモニタリング調査で確認されています。

これらの取り組みが評価され、2012年10月にはグッドデザイン賞2012を受賞し、さらに2013年4月には、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受けました。



※サンデンフォレストHPより

【あかぎくらぶ】
非特定営利法人「あかぎくらぶ」が設立され、地域と一緒に赤城山全体の保全活動が実施されています。



特定非営利活動法人 あかぎくらぶ

「特定非営利活動法人あかぎくらぶ」は、2003年6月11日付けで登記設立されました。



「特定非営利活動法人あかぎくらぶ」は...

サンデンフォレストの小中学校の総合的な学習への提供をはじめとして、さまざまな環境保全・自然体験活動への提供の窓口業務とサンデンフォレストを中心とした赤城山全域の環境保全活動を推進していきたいと考えております。趣旨にご賛同いただける方のご入会をおまち致しております。

● 入会のご案内 ●

「特定非営利活動法人あかぎくらぶ」は、群馬のシンボルともいえる赤城山麓の環境保護または復元する活動とその自然環境の環境学習、自然体験活動への提供、により、環境保全の推進・啓蒙、子供の健全育成および高度な社会教育の実現に寄与することを目的として設立されました。

「あかぎくらぶ」の活動は、会員のみなさんによって支えられています。赤城山麓の環境問題に対して、一緒に考え行動していただける会員、目的や活動に賛同し賛助していただける会員を募集しています。

● 会費について ●

正会員	会費	個人	入会金:1,000円	年会費:1,000円
賛助会員	共通	法人	入会金:5,000円	年会費:10,000円

※正会員の方は、自主計画事業等で、ご協力いただける方とさせていただきます。そのほかご協力いただける方は賛助会員としての入会をお願致します。※年会費とは、4月1日より3月31日までの1年間を指します

※あかぎくらぶHPより

【サンデン株式会社】
カーエアコンシステム、冷凍・冷蔵ショーケース、自動販売機、住環境機器の製造・販売を行い、お客様の快適な環境を提供しています。

2. 企業CSR等の実施状況のHP調べ

・2003年、サントリー九州熊本工場の水源涵養エリアで始めた、森を守り、水を育む活動は、今では、13都府県17カ所にまで広がり、総面積は「天然水の森」が7,600ha超、協議会による活動が約1,050haとなっています。

「サントリー榛名工場」および「サントリー利根川ビール工場」の水源涵養エリアにあたる赤城山で、大規模な森林整備活動を展開しています。

2008年12月26日

サントリー「天然水の森 赤城」拡大展開し、水源涵養活動を推進していきます。

チェック ツイートする いいね! いいね! 0

リンク：サントリー「天然水の森 赤城」拡大展開、というニュースリリースより。
 サントリーは、「サントリー利根川ビール工場」「サントリー榛名工場」の水源地にあたる森林の涵養活動を推進するため、群馬森林管理署との間で森林整備協定を、12月25日に締結しました。



写真は左から、当社代表取締役副社長 鳥井信吾、群馬森林管理署長 中岡茂氏。

あわせて、群馬県、渋川市、群馬森林管理署、東京農業大学、(財)日本鳥類保護連盟、地元NPO団体などととも、「サントリー天然水の森 赤城 100年の森づくり協議会」を設立しました。

2 サントリー「天然水の森 赤城」
 【多様な活動推進の森】

赤城山エリアでの水源涵養活動を更に拡大するため、群馬県渋川市に位置する約1,300haもの広大な国有林で、関東森林管理局群馬森林管理署と「多様な活動推進の森」の協定を締結、「サントリー 天然水の森 赤城 100年の森づくり協議会」を立ち上げ、活動を始めました。

所在地	群馬県渋川市赤城町北赤城山
面積	約1,300ha
契約年月	2008年12月
契約期間	5年(100年間の自動更新)

※サントリーHPより

- ・荒川下流では、将来像計画に基づいて、自然地の整備が進められてきていますが、維持管理が課題となっています。
- ・千住桜木自然地では、アダプト制度により、企業や団体に「荒川水辺サポーター」になってもらって、管理を行っています。平成25年度は、9団体と合意書を締結して実施されています。

(別紙)

荒川下流自然地管理アダプト制度 千住桜木地区版- 平成25年度「荒川水辺サポーター」を募集します!

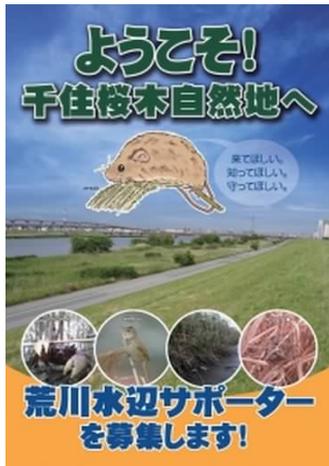
荒川下流河川事務所(以下、事務所)では、千住桜木自然地(東京都足立区千住桜木地先, 参考資料2)において、多様な生物が生息・生育する自然環境の保全・活用を目指し、事務所と連携して自然地の維持管理活動を実施して下さる活動団体「荒川水辺サポーター」を募集します。

【活動内容】

活動団体は、千住桜木自然地内に一定範囲の活動場所を設定し、自然地の維持管理活動として、①ごみ拾い、②草刈り・草抜き、③動植物の生息・生育状況調査、のいずれかを年1回以上実施します(詳細は、資料1を参照してください)。

【活動支援】

事務所は、活動団体の要望に応じて、ごみ拾い、草刈り・草抜きに必要な備品の貸与、回収したごみの処分、活動の広報、アダプトサインの設置を行います(詳細は、資料1を参照してください)。



※環境戦隊ステレンジャー 公式サイト - 遊フロンティアHPより



荒川下流河川事務所ホームページ > お知らせ > 「荒川水辺サポーター」が活動を実施しました!

「荒川水辺サポーター」が活動を実施しました!

平成25年10月31日

平成25年5月25日及び6月15日に千住桜木地区(足立区)において、また、平成25年5月28日(火)に小松川地区(江戸川区)において、荒川下流自然地管理アダプト制度の「荒川水辺サポーター」が自然管理活動(除草、ゴミ拾い)を実施しました。

- 平成25年5月25日(土)
 - ・環境戦隊ステレンジャー
 - ・合同会社 西友
- 平成25年5月28日(火)
 - ・SMCシビルテクノス株式会社
- 平成25年6月15日(土)
 - ・東亜建設工業株式会社 東京支店

(敬称略)

「荒川水辺サポーター」が秋に活動を実施しました!

平成25年11月01日

千住桜木地区(足立区)及び小松川地区(江戸川区)において、荒川下流自然地管理アダプト制度の「荒川水辺サポーター」に自然管理活動(除草、ゴミ拾い)を実施しました。

- 千住桜木地区(足立区)
 - ・平成25年 9月21日(土) 東京商工会議所足立支部青年部
 - ・平成25年10月 4日(金) 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
 - ・平成25年10月 5日(土) 株式会社地図総合コンサルタント 東京支店
 - ・平成25年10月10日(木) 西武建設株式会社 東京支店

・江戸時代に誕生した、いくつかの花菖蒲園のうち、戦後唯一復興を果たした菖蒲園があります。

葛飾区

文字サイズの変更 縮小 元に戻す 拡大 色の変更 A A A

検索 検索方法

トップページ < 暮らしのガイド < イベント情報 < 観光・産業情報 < **施設案内** < 事業者情報 < 区政情報

現在位置: トップページ > 施設案内 > 公園 > 堀切菖蒲園

施設案内

公園

- 葛飾あらかわ水辺公園
- 堀切菖蒲園**
- 堀切水辺公園
- 小菅西公園
- 小菅東スポーツ公園
- 新宿交通公園
- 北沼公園
- 上千葉杉原公園
- 豊洲川親水公園
- 船又公園
- 重立石緑地公園
- 新小岩公園
- 水元中央公園
- 香戸平和公園
- 浜江公園
- 金町公園
- 鎌倉公園

施設案内 堀切菖蒲園

更新日 平成26年4月10日

6月上旬から中旬に菖蒲の花が見頃となる花菖蒲園で、葛飾区の観光名所の一つとなっています。その他には、梅、藤、冬桜、牡丹など四季折々の花が見られます。

所在地	〒124-0006 東京都葛飾区堀切2-19-1
電話	葛飾区公園管理所:03-3694-2474 静観亭:03-3693-6636
開園時間	午前9時から午後5時まで ただし、6月1日から6月25日までは午前8時から午後6時まで
休園日	公園:年末年始(12月29日から1月3日まで)
静観亭	静観亭:月曜日(月曜日が祝日の時はその直後の平日)、年末年始(12月28日から1月4日)(注釈)1月5日から1月31日及び6月は休館しません。
駐車場	堀切菖蒲園にはありません。 なお、土曜日、日曜日、祝日はお近くの荒川(河川敷)駐車場をご利用いただけます。(1日1回500円 普通車のみ)
交通アクセス	京成電鉄 「堀切菖蒲園」駅 徒歩約10分
入園料	無料
面積	7,736.45平方メートル
開園年月日	昭和50年4月1日(区立公園としての開園年月日)

主な施設・特徴

- 江戸時代、堀切の地に観光名所としての花菖蒲園が誕生し、以来、この地域にいくつかの花菖蒲園が栄えました。現在の堀切菖蒲園は、戦後唯一復興を果たした「堀切園」の一部が母体となっています。
- 堀切菖蒲園の花菖蒲は、例年、5月中旬に一番花が咲き、その後6月中旬頃まで見ることができます。花菖蒲の開花期には、別途「花しょうぶ祭り(堀切菖蒲開花情報)」でお知らせします。
- 園内には、庭園を楽しみながら喫茶や会食ができる静観亭があります。詳しくは下記リンクをご覧ください。

堀切菖蒲園 静観亭



▲菖蒲園の様子(平成25年6月撮影)

・三菱UFJグループでは、主に環境教育に重点を置いた活動がなされています。

MUFGグループのCSR

平成23年度の活動一覧(三菱UFJファイナンシャルグループCSRレポートより)

MUFGグループ CSRトピックス

	2012年						2013年										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
三菱UFJ ファイナンシャル グループ	●「アジア・太平洋地域の次世代担い手研修」第5期スタート ●「TOMODACHIイニシアチブ」への参画を発表	●「MUFU・ユネスコ協会 東日本大震災復興英基金」花壇再生ボランティア実施(7月までに計6回)	●「守ろう地球のたからもの」プロジェクト第9、10回植樹実施	●第6回「ジョブシャドウ」実施 ●第1回「TOMODACHI・MUFU 国際交流プログラム」実施			●MUFU・ユネスコ協会東日本大震災復興英基金」花壇再生ボランティア実施(11月までに計6回)	●「FITチャリティ・ラン2012」に参加			●「MUFU・ユネスコ協会 東日本大震災復興英基金」2013年度奨学金プログラムの募集開始 ●「アジア・太平洋地域の次世代担い手研修」第5期修了	●「アジア・太平洋地域の次世代担い手研修」第6期スタート	●「MUFU・ユネスコ協会 東日本大震災復興英基金」花壇再生ボランティア実施(6月までに計5回)		●「守ろう地球のたからもの」プロジェクト第2回育樹活動実施 ●第2回「TOMODACHI・MUFU 国際交流プログラム」実施 ●第7回「ジョブシャドウ」実施		
三菱東京 UFJ銀行					●第5回「かがやkids' day」開催			●「メッセナゴヤ2012」への出展				●第3回「ESD国際交流プログラム」の実施	●「MUFU・ジュニアテニストーナメント2013」の実施				
三菱UFJ 信託銀行		●東京大学大学院「イノベーションケーススタディ」へ講師を派遣			●「CSRサポートローン」の取り扱い開始 ●「こども参観日」開催			●第4回「CSR関連事業計画発表会」開催		●「ずっと安心信託」が「2012年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経ヴェリタス賞」受賞			●「かけはし信託愛の基金」より社会福祉施設などに寄付 ●「教育資金継与信託」の取り扱い開始				
三菱UFJ 証券 ホールディングス	●九十九里浜海岸林再生活動(*1)		●「陸前高田イベントフェスト」		●九十九里浜海岸林再生活動(*1)		●「絵本とジャズのコラボレーション in 石巻」	●「三陸鉄道復興支援 映画上映会・パネルトーク」	●献血会(目白台ビル)				●九十九里浜海岸林再生活動	●電子ポストキャンペーン(2013)実施(*2)	●電子ポストキャンペーン(2012下)結果の「MUFU・ユネスコ協会東日本大震災復興英基金」への寄付(*2)	●電子ポストキャンペーン(2012上)実施(*2)	●電子ポストキャンペーン(2012下)実施(*2)
三菱UFJ ニコス		●心のケアを目的としたコンサート支援を開始		●被災地の農業復興を目的とした従業員ボランティア活動の開始	●「教員の民間企業研修」に参加 ●ファミリー参観開催 ●避難地区のコミュニティ再生を目的とした同窓会ボランティア開始			●長期入院の子どもたちへのクリスマスカード作成(*1)	●電子ポストキャンペーン(2012上)実施(*2)	●電子ポストキャンペーン(2012下)実施(*2)	●電子ポストキャンペーン(2012上)結果の「MUFU・ユネスコ協会東日本大震災復興英基金」への寄付(*2)		●「Poke Pos for J-Mups」のサービス開始 ●前払式決済サービス「e-さいふ」リリース	●TOKYO FM番組で震災2年メモリアル番組提供	●東京大学に次世代個人認証技術の寄付講座を開設	●被災地の多様なニーズに対応した新形態ボランティア開始 ●石巻での復興祈念コンサートを支援	

(*1)三菱UFJモルガン・スタンレー証券とモルガン・スタンレー MUFU証券の共同CSR活動
(*2)三菱UFJモルガン・スタンレー証券の活動

